

V-SFT Ver. 6.1.3.0 バージョンアップ情報

	V9	TS2060i/TS2060	V8i(N)/V8(N)	X1
本体プログラム	Ver. 2.400	Ver. 2.380	Ver. 2.380	Ver. 1.200 *
OS	Ver. 4.20			



* X1のアップデートプログラムはホームページからダウンロードしてください。アップデート手順は同梱の『アップデート手順書』を参照。

接続

- 接続可能機種追加**：三菱電機 QnUシリーズ（内蔵Ethernet ASCII）
 対応機種：V9/TS2060i/V8i(N)、X1
 接続機種：三菱電機 QnUシリーズ（内蔵Ethernet ASCII）
- 接続可能型式追加**：三菱電機 Q170シリーズ（マルチCPU） Ethernetユニット
 対応機種：V9、X1
 接続機種：三菱電機 Q170シリーズ（マルチCPU）（Ethernet）
- 接続可能型式追加**：三菱電機 通信アダプタ FX3U-ENET-ADP
 対応機種：V9/TS2060i/V8i(N)、X1
 接続機種：三菱電機 FX3U/3GEシリーズ（Ethernet）
- 接続機種仕様拡張**：ジェイテクト TOYOPUC（Ethernet PC10モード） TCP/IP通信対応
 対応機種：V9/TS2060i/V8i(N)、X1
 接続機種：TOYOPUC（Ethernet PC10モード）
- 接続可能機種追加**：RFIDコントローラ（無手順プロトコル）
 対応機種：V9/TS2060i/TS2060/V8i(N)/V8(N)、X1
 接続機種：その他 RFIDコントローラ（無手順プロトコル）
- 接続可能型式追加**：プリンタ OKI COREFIDO B432dnw
 対応機種：V9
 接続機種：プリンタ OKI COREFIDO
 接続可能型式：B432dnwのみ
 接続方法：USB A、LAN
 印刷内容：画面ハードコピー/ロギングプリント/帳票印刷(拡張含む)/マクロ「OUT_PR」による印刷 *ESC/P-R、HP HPLIPと同等
*** OSのアップデートが必要**

機能

1 スイッチ オーバーラップの消去機能

対応機種：V9、X1

【概要】

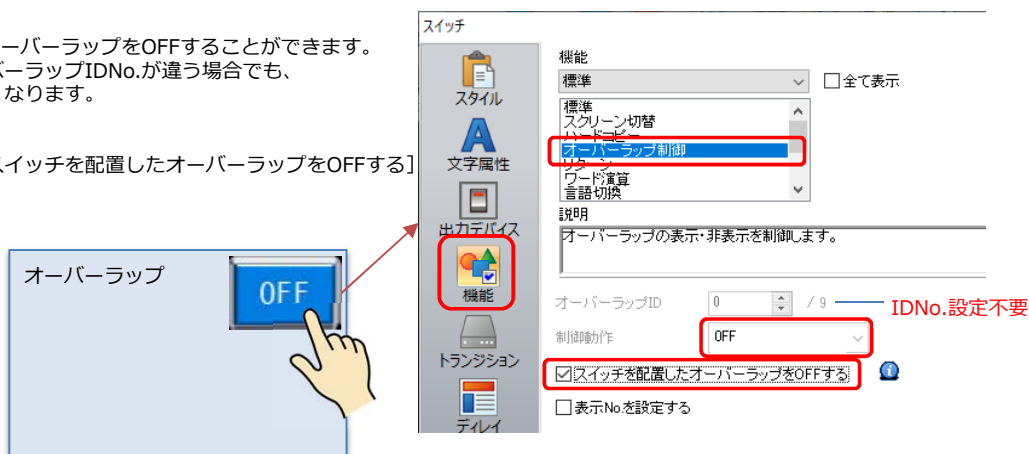
オーバーラップIDNo.を指定せずにオーバーラップをOFFすることができます。各スクリーンに登録したマルチオーバーラップIDNo.が違う場合でも、画面の登録状況を気にする必要がなくなります。

【設定箇所】

スイッチダイアログ→[機能]→[スイッチを配置したオーバーラップをOFFする]のチェック

【条件】

上記設定をしたスイッチを配置したオーバーラップに有効



2 データ表示 入力対象の項目選択機能

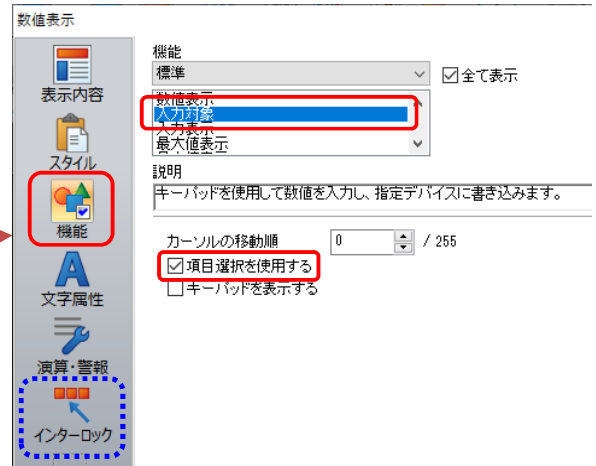
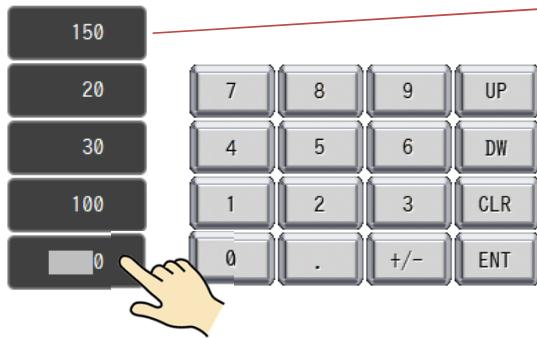
対応機種：V9、X1

【概要】

キーボードと入力対象（数値表示/文字列表示）がスクリーンに配置されている場合に、入力対象のタッチでカーソル移動できます。透明スイッチ「機能：項目選択」を重ねる必要がなくなり、編集しやすくなります。インターロックの設定も可能です。

【設定箇所】

数値表示/文字列表示ダイアログ→[機能]→[項目選択を使用する]のチェック



3 トレンドグラフ 常時表示機能

対応機種：V9、X1

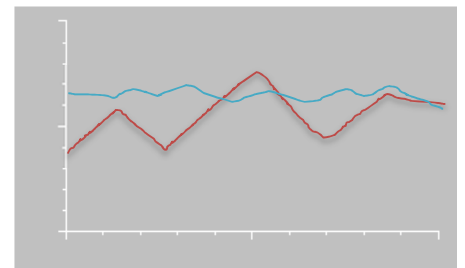
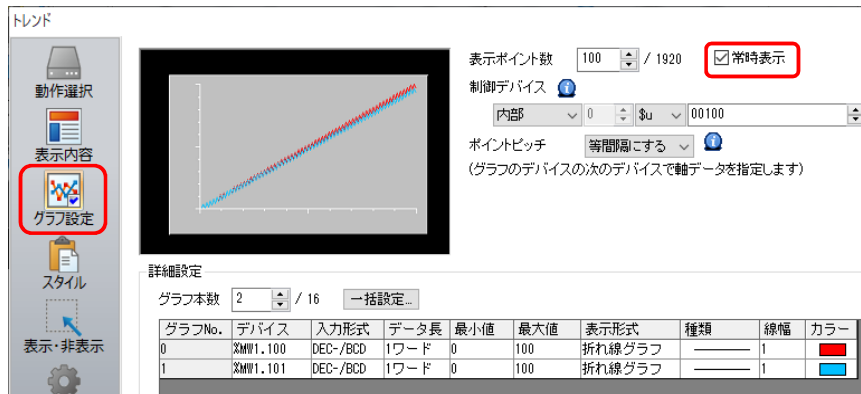
【概要】

トレンドグラフの表示ポイント数を制御デバイスにセットするだけで、常時表示できます。従来の再描画/再描画クリアビット * を使わないので、ラダー制御も不要です。

* 制御デバイスの14ビット目/15ビット目

【設定箇所】

トレンドダイアログ→[グラフ設定]→[常時表示]のチェック



制御デバイス \$u100=100 (表示ポイント数) をセットする

【備考】

親子トレンド使用時、親トレンドに[常時表示]の設定があれば、子トレンドも常時表示します。

4 USBカメラ 縦置き対応

対応機種：V9

【概要】

V9縦置き使用時もUSBカメラの使用ができるようになりました。

5 ネットワークカメラ スナップ画像の回転保存 \$s976

対応機種：V9

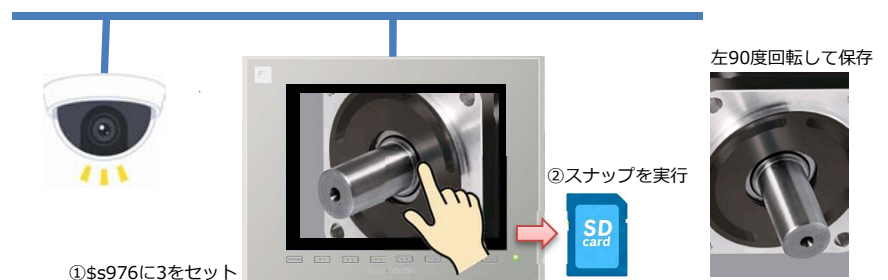
【概要】

スナップ画像を回転させて保存できます。

【方法】

\$s976に以下の値をセットして、スナップを実行

- 0：回転しない
- 1：右90度
- 2：180度
- 3：左90度



6 拡張帳票 PDF出力の文字品質向上

対応機種：V9、X1

【概要】

従来の拡張帳票は文字を画像としてPDF出力していますが、文字をTrueTypeフォントとして、出力できます。

<イメージ>

◆設定なし

Logger

◆設定あり

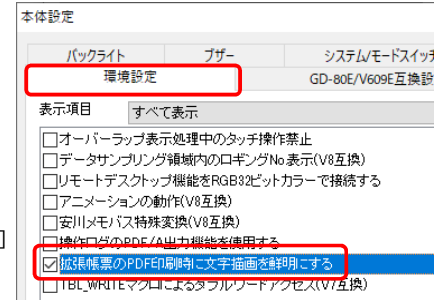
Logger

【設定箇所】

〔システム設定〕→〔本体設定〕→〔環境設定〕→〔拡張帳票のPDF出力時に文字描画を鮮明にする〕のチェック

【使用条件】

- ・〔システム設定〕→〔フォント設定〕→〔フォント種類：TrueTypeフォント〕
- ・Windowsフォント未対応



* 詳しくは『V9リファレンスマニュアル1』参照

7 ログイン バックアップファイルでのカーソルポイント値取得の対応

対応機種：V9、X1

【概要】

ストレージに保存したバックアップファイル表示時、カーソルで選択したデータの取得が可能です。

【対応マクロコマンド】

- ・SAMPLE
- ・SYS(GET_SMPL)/SYS(GET_SCUR) *V8互換

* 詳しくは『V9マクロリファレンス』参照

8 データ転送サービス 仕様拡張

対応機種：V9

■空フォルダの転送

【概要】

フォルダのダウンロード時、フォルダ内が空の場合でもダウンロードします。



【条件】

転送モード：フォルダ単位でダウンロード

【設定箇所】

〔システム設定〕→〔データ転送サービス〕→〔データ転送サービス設定〕→レコードの〔空フォルダも転送する〕のチェック

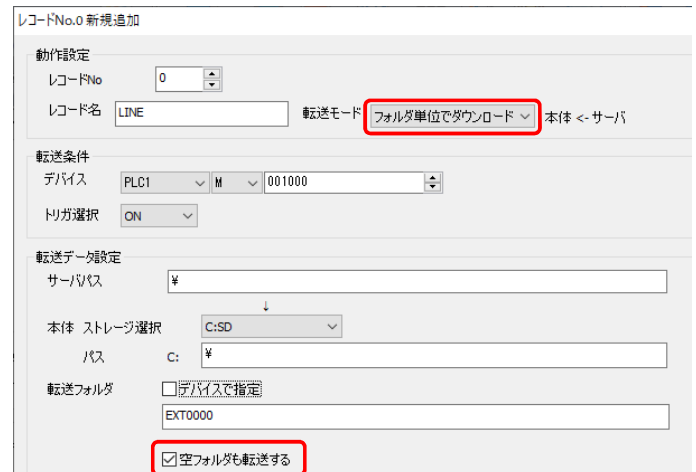
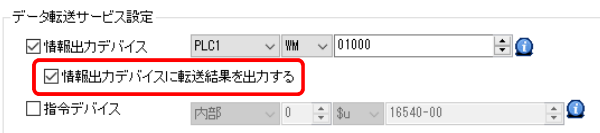
■情報出力デバイスに転送結果を出力する

【概要】

情報出力デバイス「n+2」（クラウドの場合は「n+4」）に転送結果を出力します。

【設定箇所】

〔システム設定〕→〔データ転送サービス〕→〔データ転送サービス設定〕→〔情報出力デバイスに転送結果を出力する〕のチェック



情報出力デバイス「n+2」（クラウドの場合は「n+4」）

15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

ダウンロード異常終了

アップロード異常終了

ダウンロード正常終了

アップロード正常終了

* 詳しくは『V9リファレンスマニュアル2』参照

9 転送 画面データの読み出し（アップロード）禁止対応

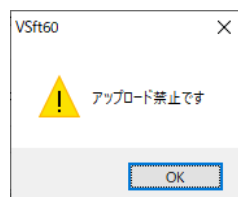
対応機種：V9

【概要】

パソコン、ストレージ全てからの画面データの読み出しを禁止します。画面データの流出を完全に防止できます。

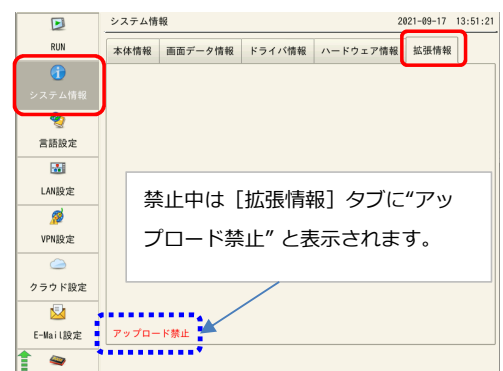
【使用方法】

1. 〔ファイル〕→〔プロパティ〕→〔転送〕→〔画面データのアップロードを禁止する〕のチェックを入れる
2. 画面データをV9に転送する



【解除方法】

〔画面データのアップロードを禁止する〕のチェックがない画面データを転送する



10 シンボル 警報/演算/レンジ変換対応

対応機種： TS2060i/TS2060/V8i(N)/V8(N) * V9、X1はV-SFT Ver. 6.1.1.0で対応済み

【概要】

シンボルに設定したデバイスに対して、警報/演算/レンジ変換機能ができます。

演算が必要なデータをPLC側やマクロで処理する必要がなくなり、複数箇所で使用時もシンボル側の変更のみで済むため、工数削減が可能です。

【使用可能アイテム】

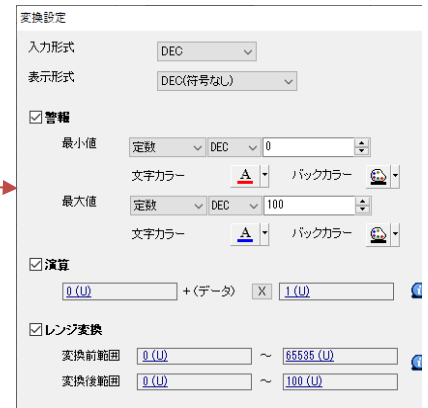
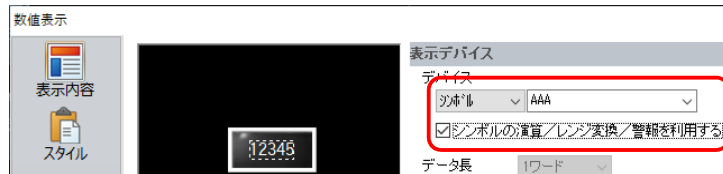
数値表示

【設定箇所】

・シンボル：[ホーム] → [登録項目] → [シンボル] → [変換] をダブルクリック

ID	シンボル	タイプ	配列	要素数	デバイス	コメント	シンボル使用状況	変換
0	AAA	ワード	☐		D00100		使用中	あり
1	BBB	ビット	☐		M00000		未使用	あり
2	CCC	ワード	☐		D00102		未使用	あり
3	DDD	ワード	☐		D00103		未使用	なし
4			☐					

・数値表示：[表示内容] → [表示デバイス] → [シンボルの演算/レンジ変換/警報を利用する] のチェック



11 X1 縦置き対応（右90度のみ）

対応機種： X1

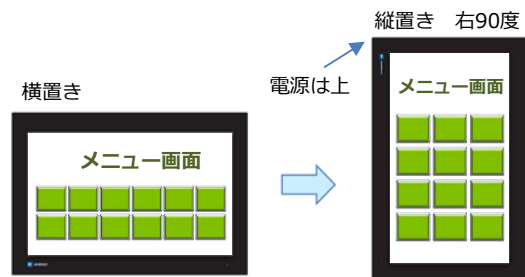
【概要】

X1の縦置きに対応しました。

ローカル画面、System Configurator 画面も縦仕様になります。

【使用条件】

右90度の縦置きのみ *電源は上



12 X1 アプリケーション起動の仕様拡張

対応機種： X1

【概要】

以下の仕様が拡張されました。

マクロを使わないので、簡単に起動の設定が行えるほか、起動タイミングや起動内容のデバイス指定など、より自由度が増します。

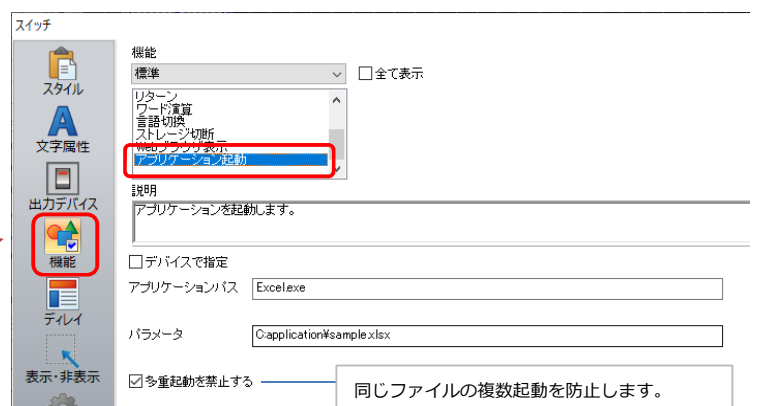
- ・スイッチ機能、PLC指令による起動
- ・起動アプリケーションのパス、パラメータのデバイス指定
- ・同じファイルの複数起動を防止

【設定箇所】

スイッチの場合

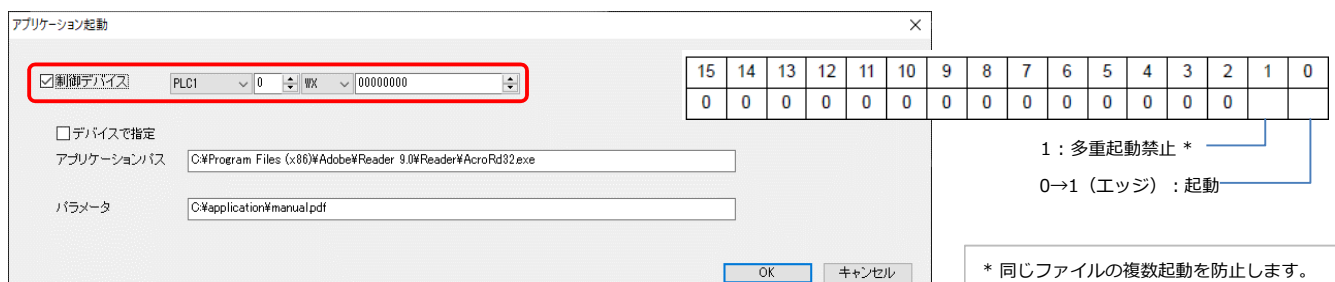
スイッチダイアログ → [機能] → [アプリケーション起動]

スイッチ



PLC指令の場合

[システム設定] → [その他] → [アプリケーション起動] → [制御デバイス] のチェック



13 X1 マルチディスプレイ機能対応

対応機種：X1

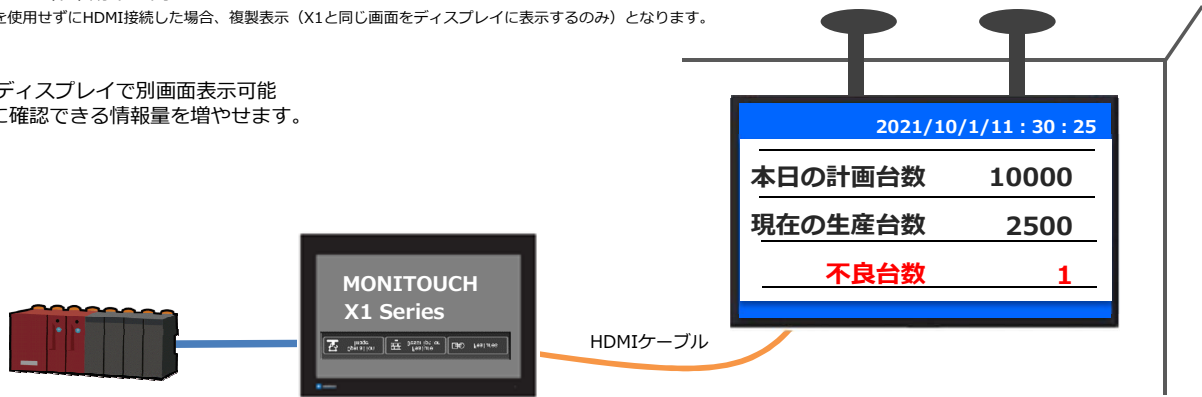
【概要】

X1とディスプレイをHDMIケーブルで接続し、それぞれ独立して画面表示/操作が可能です。*

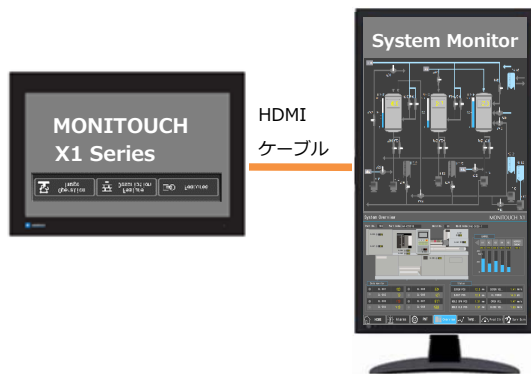
大型のディスプレイで異常発生や現在の生産数/不良数などの情報を現場作業者に周知したり、X1とディスプレイを並べて一度に確認できる情報量を増やすなど、作業効率を向上できます。

* 本機能を使用せずにHDMI接続した場合、複製表示（X1と同じ画面をディスプレイに表示するのみ）となります。

- ◆X1とディスプレイで別画面表示可能
一度に確認できる情報量を増やせます。



- ◆X1、ディスプレイの縦置き設置可能
現場の環境、スペースに合わせて設置できます。



- ◆タッチスイッチ付きディスプレイの使用可
USBケーブルを使って、ディスプレイ側でのタッチ操作が可能です。



- ◆X1とディスプレイで同じ画面データを使用、それぞれ異なる画面データを使用の選択可
ユーザの使用方法に応じた運用が可能です。



【設定箇所】

【システム設定】→【その他】→【マルチディスプレイ設定】

* 詳しくは『X1リファレンスマニュアル2』参照

14 タッチスイッチエミュレート（RGB入力） Windows 10対応

対応機種：V8i(N)+GU-xx (RGB-IN)

* V9はV-SFT Ver. 6.1.1.0で対応済み

【概要】

Windows 10のパソコン使用時、DMC製タッチパネルドライバ「DMT-DD」を使用して、タッチスイッチエミュレートが可能です。

【必要なもの】

DMC製タッチパネルドライバ 「DMT-DD」

詳しくは『V9リファレンスマニュアル2』を参照してください。

1 Allen-Bradley タグの仕様拡張

【概要】

以下のエディタ仕様を改善しました。

- ・ PLC1~PLC8対応
 - ・ タグ名を選択してAND条件によるインポートに対応
 - ・ タグ検索、一覧表示、編集/削除に対応
- その他、データ型、範囲、パフォーマンスも改善しています。

【接続機種】 全てNEW !

- ・ ControlLogix/CompactLogix タグ
 - ・ ControlLogixタグ(Ethernet TCP/IP)
 - ・ Micro800 Controllersタグ
 - ・ Micro800 Controllersタグ(Ethernet TCP/IP)
- * 従来のPLC機種から上記機種への変換も簡単に出来ます。

AND条件によるインポート

タグ編集 (検索、編集/削除)

2 ファイル名を画面データに保存する

【概要】

ファイル名を画面データに保存できます。本体から画面データ読み出し時、転送時のファイル名で保存できます。画面データをファイル名で管理している場合に、当時のデータをファイル名から判断できるので便利です。

【設定方法】

【ファイル】 → 【プロパティ】 → 【ファイル情報】 → 【保存する】にチェックしてから、本体に画面転送する

◆画面転送前 ファイル名は保存先のパスを表示

◆本体から画面読み出し時

3 アラームサーバー インポート/エクスポート編集の仕様拡張

【概要】

アラームサーバーのデバイス以外の項目もCSVファイルで編集できます。

【設定箇所】

【システム設定】 → 【アラームサーバー】 → 【アラームデバイス】

* 詳しくは『V9リファレンス マニュアル1』参照

4 複数コピー デバイスインクリメントの拡張

【概要】

複数コピーのデバイスインクリメントのステップ数が1～65535まで拡張されました。

複数コピー

●ドット ○ライン/ガム

●間隔 ○距離

コピー方向

× 間隔 2

y 間隔 2

個数 x 30

個数 y 20

方向変更...

☐ カーソルの移動順インクリメント ステップ 1

☐ 表示順インクリメント ステップ 1

☐ 切替スクリーンNo. インクリメント ステップ 1

☒ デバイス インクリメント ☐ ファイルNo.+1 ☐ レコードNo.+1

☒ 数値デバイス

PLC1 0 M 00000

内部 0 \$u 00100

内部 0 \$u 00100

ステップ 1

OK キャンセル

1～65535
まで設定可

5 パターン、3Dパーツのビットマップエリアの拡張

対応機種：V9、X1

【概要】

パターン、3Dパーツビットマップエリアの範囲が拡張されました。

パターン：1024個 → 4096個
3Dパーツビットマップエリア：1023個 → 4095個

6 TELLUS Ver. 4 PLC接続ポート「LAN2」対応

【概要】

〔編集機種選択〕にてTELLUS Ver. 4選択時、PLCの「接続先ポート：LAN2」の選択が可能です。
TELLUS-HMI使用時、パソコンにLANポートが2つある場合に、各ネットワークでの通信が可能です。

PLC1 接続機器選択

接続機器 PLC

メーカー 富士電機

機種 MICROEX-SX(Ethernet)

接続先ポート LAN LAN2

完了 キャンセル

* 2021年11月リリース予定 TELLUS Ver. 4.0.11.0で使用可能